

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2011 年 6 月 30 日(30.06.2011)

(10) 国際公開番号
WO 2011/077794 A1

- (51) 国際特許分類:
B42F 1/02 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2010/066114
- (22) 国際出願日: 2010 年 9 月 13 日(13.09.2010)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2009-293153 2009 年 12 月 24 日(24.12.2009) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): エヌエスプランニング株式会社(NS PLANNING INC.) [JP/JP]; 〒1700005 東京都豊島区南大塚 2-2 6-7 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 吉田 司 (YOSHIDA Tsukasa) [JP/JP]; 〒1700005 東京都豊島区南大塚 2-2 6-7 エヌエスプランニング株式会社内 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA,

BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

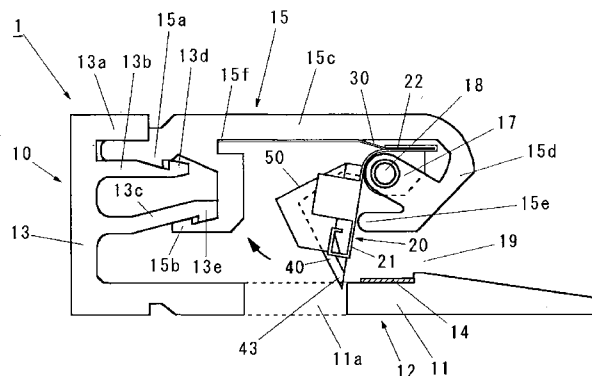
添付公開書類:

- 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

(54) Title: PAPER HOLDER

(54) 発明の名称: ペーパーホルダー

[図 1]



(57) Abstract: Provided is a paper holder which can reliably hold paper and allow paper to be reliably pulled out one sheet at a time from the top, such that a clean, straight tear mark is left, and almost no dust is generated. The paper holder is provided with a case (10) wherein a base portion (12) including a bottom surface portion (11) is removably engaged with an upper coverage portion (15), the base portion and the upper coverage portion integrally defining a paper piece insertion port (19); and a holding piece (20) which is provided with a blade (40) and holds the inserted paper in the case (10). An elastic member (30) is provided for applying a spring force to the holding piece (20) in the direction that the paper pieces are to be pulled out. The holding piece (20) is made of a rigid plate, is axially supported to be rotatable by an axial support portion (17) provided on the inner side of a forward end front surface portion (15d) of the case (10), and is provided with a longitudinal surface portion (21) extending from the axial support portion (17) toward the bottom surface portion. The blade (40) is secured to a blade securing member (50), and the blade securing member (50) is arranged on a surface of the longitudinal surface portion (21) on the side of the paper insertion direction, so that a tip end (43) of the blade projects from an end on the bottom surface side of the longitudinal surface portion (21).

(57) 要約:

[続葉有]

WO 2011/077794 A1

〔課題〕紙類は確実に保持され、上部から１枚ずつ確実に抜き取ることができ、直線状の綺麗な引き裂き跡が残り、塵が発生しにくいペーパーホルダーを提供する。〔解決手段〕底面部１１を含む台部１２と、上覆部１５とが着脱可能に係合し、一体化されて紙類の挿入口１９が形成されるケース１０と、ケース１０内に、挿入された紙類を保持するための、刃４０を設けた保持片２０とを備える。保持片２０に対し、紙類の引き抜き方向へバネ力を付勢する弾性部材３０を備える。保持片２０は、剛性を有する板状体からなり、ケース１０の前端正面部１５ｄの内側に設けられた軸支部１７において回動可能に軸支され、軸支部１７から底面部側へ延びる縦面部２１を備える。刃４０は刃固定部材５０に固定され、刃固定部材５０は、縦面部２１の紙類挿入方向側の面に、刃の先端部４３が縦面部２１の底面部側の端部から突出するように設けられる。

明細書

ペーパーホルダー

技術分野

- [0001] 本発明は、同時に複数枚の紙類を容易に挿入することができ、かつ下部の紙類が脱落することなく、上部から１枚ずつ確実に抜き取ることができ、また、引き抜かれた紙には直線状の綺麗な引き裂き跡が残るペーパーホルダーに関する。

背景技術

- [0002] 従来、紙類を挟んで固定するために使用するペーパーホルダーとしては各種のものがあるが、その基本構造として、ケースの一方の側に紙類を挿入するための挿入口を有するとともに、ケースの内部に紙類を保持するための保持部材を備えたものが知られている。

特許文献１には、「挿入溝内に配置され、挿入溝に挿入された書類の移動に伴って正転または逆転する転動体と、前記転動体の表面に形成され、転動体の回転に応じて前記挿入溝に進退する針状体」を備え、「前記針状体は転動体の逆転時に挿入溝に進出して前記書類を刺し止めることを特徴とする書類保持具」が記載されている。また、「転動体は付勢手段により逆転方向に付勢されている」構成が記載されている。

特許文献２には、本発明者の発明に係るカードホルダーが開示されている。該文献には、「厚み部を有する基片の一端部に外覆片を係合して一側部にカード挿入口を設け、これら基片と外覆片のなす空間部内に弾力性のあるカード挟着片を、その一端部が前記基片に当接するように外覆片に取り付けてなることを特徴とする」構成や、「カード挟着片は板状スプリングからなり、一端部を外覆片の取付部となし、取付部の端部から傾斜をつけて折曲してカード挟着部を設けた山形状に形成してなることを特徴とする」構成が開示されている。

- [0003] 特許文献１に記載の書類保持具は、書類の移動と共に回転する転動体の表面に形成された針状体で書類を刺し止める（〔００１２〕、図３、図４）もので、不要になった紙は、引き抜くことによって、針が刺し通された部分が破れて、引き取ることができる（〔００２５〕）ものであり、生産工場のラインにおける生産指示書の保持具等として使用し得る。

しかし、引き抜いた紙は、突き刺した針状体によって破られるため、ギザギザの引き裂き跡となり、引き裂き部において紙材から離脱する塵、ゴミが

発生し、これが飛散するので、クリーンルーム等での使用に適したものとはいえない。また、使用によって消耗する針状体の交換を可能とする構成については何ら開示されていない。

特許文献2に記載のカードホルダーは、板状スプリングからなるカード挟着片によって直接に紙類を保持するものであり、針のような先端が尖った部材で紙類を保持するものではなく、紙類の保持が確実ではない。

なお、クリップ（ダブルクリップなど）や洗濯挟みのように紙類を挟むタイプのもので針などを設けたものがあるが、紙類を保持するために摘み部を摘む開閉動作を行う必要があり、紙類の挿入及び引き抜きが容易なものではない。

先行技術文献

特許文献

- [0004] 特許文献1 特許第3085201号公報
特許文献2 特開2002-120482号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

- [0005] 本発明は上記事情に鑑み開発されたもので、同時に複数枚の紙類を容易に挿入することができ、挿入された紙類は確実に保持され、また保持された紙類を下部の紙類が脱落することなく、上部から1枚ずつ確実に抜き取ることができ、かつ引き抜かれた紙には直線状の綺麗な引き裂き跡が残り、塵が発生しにくい、ペーパーホルダーを提供することを目的とする。また、製作及び分解が容易で、刃等の部品の交換も簡単になし得るペーパーホルダーを提供すること等を目的とする。

課題を解決するための手段

- [006] (1) 底面部を含む台部と、底面部と空間を隔ててほぼ平行に対向する上面部と該上面部の前端に側面視略U字状をなす前端正面部とを有する上覆部と、が着脱可能に係合し、一体化されて前記前端正面部の下方に紙類の挿入口が形成されるケースと、該ケース内に設けられた、挿入された紙類を保持するための保持片と、該保持片に対して前記紙類の引き抜き方向へバネ力を付勢する弾性部材と、前記保持片に設けられた刃とを備えてなり、前記保持片は、剛性を有する板状体からなり、前記前端正面部の内側に設けられた軸支部において回動可能に軸支され、前記軸支部から前記底面部側へ延びる縦面部を

備え、前記刃は、前記保持片に対して刃の垂直な起立状態を保持する刃固定部材に固定され、該刃固定部材は、前記縦面部の紙類挿入方向側の面に、刃の先端部が前記縦面部の前記底面部側の端部から突出するように設けられ、前記底面部の内面に、挿入された紙類の脱落を防止するための摩擦部を備えた、ペーパーホルダーである。

- (2) 前記保持片は、側面視略くの字状に屈曲され、前記縦面部に連なる横面部を備え、前記縦面部と前記横面部とが交わる屈曲部近傍において前記軸支部に軸支され、前記横面部に前記弾性部材に係合しているものである。
- (3) 前記横面部の端部は反転折り返しされて溝部が形成され、前記上面部の内面に略沿うように前記弾性部材である板バネが配置され、該板バネの一部が前記溝部に挿入されて係合しているものである。
- (4) 前記縦面部の端部は、紙類の挿入方向側に向けて折り曲げられて折り曲げ部を形成しており、該折り曲げ部に合わせて前記刃固定部材が固定されるとともに、前記折り曲げ部の幅方向の中央部には前記刃が挿通するスリットが形成されているものである。
- (5) 前記刃固定部材を前記縦面部の所定位置に係脱可能に保持する係止手段を備えたものである。
- (6) 前記刃固定部材は、前記縦面部に固定可能なベース部と、該ベース部から垂直に起立し、前記刃の腹部を両サイドで保持する起立部とを有するものである。
- (7) 前記刃は、交差して鋭角状の刃の先端部を形成する背部と刃先、と、刃元の近傍から前記背部に向けて傾斜して延びるように形成された傾斜辺部とを有するものである。

発明の効果

[007] (1) ケースは、台部と上覆部とが着脱可能に係合し、一体化されて紙類の挿入口が形成されるものであり、製作及び分解が容易である。

保持片は、前記正面部の内側に設けられた軸支部において回転可能に軸支され、軸支部から底面部側へ延びる縦面部を備えているため、底面部と上覆部とに形成される空間を最大限に有効に利用して保持片が配置されており、物品の大型化を招くことがなく、また、限られた狭い空間内で保持片（及び刃）の回転半径を大きくとることができ、紙類の挿入、引き抜きに際し、保持片の円滑で安定した動作が確保される。

前記保持片は、剛性を有する板状体からなるため、板状体の加工等により簡単に製作できる。

前記刃は、保持片に対して刃の垂直な起立状態を保持する刃固定部材に固定され、刃固定部材は、縦面部の紙類挿入方向側の面に、刃の先端部が縦面部の底面部側の端部から突出するように設けられているため、刃は所定の位

置、向きに刃固定部材によって確実に保持されるとともに、刃固定部材を用いた保持片に対する取付け、組立てが簡単である。

本発明によれば、紙類の挿入に伴って保持片が底面部と上覆部との間に形成される空間内で回転するとともに、保持片に作用する弾性部材のバネ力によって、刃の先端部を、挿入された紙類に当接させて紙類を保持するため、紙類は確実に保持され、保持された紙を上から1枚ずつ確実に引き抜くことができる。

そして、引き抜かれた紙には刃による直線状の綺麗な引き裂き跡が残り、塵が発生しにくい。塵が発生しにくいため、工場のクリーンルームなど塵埃を嫌う場所での使用にも好適である。メンテナンス、分解、修理、部品の交換も容易になし得る。

なお、特許文献1に記載の発明では、転動体（シャフト）の表面に針状体を形成しているため、回転半径を大きくとろうとすると、転動体の直径も大きくなり、それに応じたスペースを要するのに対し、本発明ではそのようなことなく保持片の位置を設定でき回転半径を大きくとって安定した動作が得られる。

さらに、刃は、針状体と異なり、刃先（刃渡り）部分及び背部分としてある程度の長さがあり、刃渡り部分に対応する高さを有して所定の面積を備えた腹部が形成されるのが必定であるところ、本発明では、この刃を含む保持片を、ケース内の狭い空間に、円滑で安定した動作を確保した上で配置したという工夫がなされているものである。

- (2) 保持片は、側面視略くの字状に屈曲され、縦面部に連なる横面部を備え、縦面部と横面部とが交わる屈曲部近傍において軸支部に軸支され、横面部に弾性部材に係合している構成により、弾性部材によるバネ力を適切に保持片に対し付勢することができる。
- (3) 横面部の端部は反転折り返しされて溝部が形成され、上面部の内面に略沿うように弾性部材である板バネが配置され、該板バネの一部が溝部に挿入されて係合している構成により、弾性部材として簡易かつ安価な板バネを用い、保持片に対する係合も簡単、確実に製作が簡便である。
- (4) 保持片の、縦面部の端部は、紙類の挿入方向側に向けて折り曲げられて折り曲げ部を形成しており、該折り曲げ部に合わせて刃固定部材が固定されるため、折り曲げ部が刃固定部材の縦方向の位置決め部となり、刃固定部材を保持片の適正位置に容易に固定することができる。折り曲げ部の幅方向の中央部には刃が挿通されるスリットが形成されているため、該スリットが刃を横方向の所定位置に設けるための位置決め部として作用し、刃を保持片の適正位置に容易に固定することができる。
- (5) 刃固定部材を縦面部の所定位置に係脱可能に保持する係止手段を備えた構成により、刃固定部材は、縦面部の所定位置に確実に、簡単に装着可能であ

るとともに、着脱が可能である。刃が消耗したときには、刃を設けた刃固定部材のみ縦面部から外して交換すればよいので、便利で経済的である。

(6) 刃固定部材は、保持片に固定可能なベース部と、該ベース部から垂直に起立し、刃の腹部を両サイドで保持する起立部とを有するため、刃固定部材の構成が簡易であり、製作コストも低廉である。

(7) 刃は、交差して鋭角状の刃の先端部を形成する背部と刃先、と、刃元の近傍から背部に向けて傾斜して延びるように形成された傾斜辺部とを有する形状であるため、ケースの狭い内部空間に刃が合理的に配置され、刃を含む保持片の動きがケースによって干渉されるなく、刃及び保持片が確実に動作する。

図面の簡単な説明

- [008] [図 1] ペーパーホルダー 1 の側面図である。
[図 2] 弾性部材 30、保持片 20 及び軸支部 17 を示す斜視図である。
[図 3] 刃 40 の側面図である。
[図 4] 刃固定部材 50 の斜視図である。
[図 5] 刃固定部材 50 の縦面部 21 への装着状態を示す側面図である。
[図 6] ペーパーホルダー 1 の動作を示す側面図である。
[図 7] ペーパーホルダー 1 の動作を示す側面図である。

発明を実施するための形態

[009]

本発明の実施例を挙げ、図面を参照して説明するが、本発明は以下の形態に限定されるものではない。

実施例

[010]

(ケース)

ペーパーホルダー 1 は、ケース 10 と、ケース 10 に内装される保持片 20 とを備えている。

ケース 10 は、底面部 11 を含む台部 12 と、底面部 11 と対向する側に位置する上覆部 15 という、二種の異なる断面を有する成形品の組合せからなり、両者は着脱可能に係合し、一体化されて手前側に紙類の挿入口 19 が形成されている。台部 12、上覆部 15 は、硬質の合成樹脂材等で形成されている。ケース 10 の大きさは、限定されないが、一例として、その高さは 1.2 ～ 2 cm 程度、奥行きは 3 ～ 5 cm 程度、幅は 2.5 cm ～ 6 cm 程

度のものが挙げられる。

ケース 10 の台部 12 には、その後端からほぼ直角に起立した後壁部 13 が形成され、該後壁部 13 に上覆部 15 が係止されている。後壁部 13 の内面には、上端鉤状部 13a からやや距離をおいて上下二段に突出した突出片 13b, 13c が形成されており、その先端の係止部 13d, 13e に、上覆部 15 の後端部に上下二段に形成された係止部 15a, 15b がそれぞれ係止されて、一体化されている。

[011]

上覆部 15 は、底面部 11 と空間を隔ててほぼ平行に対向する平面状の上面部 15c と該上面部 15c の前端に側面視略 U 字状をなす前端正面部 15d とを有している。前端正面部 15d の下端と底面部 11 との間に紙類の挿入口 19 が形成されている。前端正面部 15d の下端は、紙類挿入方向に略水平に延び、その先端部 15e は後述する保持片 20 の縦面部 21 の紙類引き抜き方向への動きを規制するストッパーとして機能する。

前端正面部 15d の内側には、後述する保持片 20 が軸支されるための軸支部 17 が、前端正面部 15d から U 字状空間（上面部 15c と前端正面部下端部との間の空間）に突出するように形成されている。すなわち、軸支部 17 は、上面部 15c の前端側の内面近傍に位置する。この軸支部 17 には、シャフト 18 を挿通可能な孔が横方向（ケースの幅方向）に形成されている。

[012]

また、図 2 に示すとおり、軸支部 17 の幅方向の両サイドには、スリット 17a, 17a が形成されており、このスリット 17a, 17a には、後述する保持片 20 の取付部 22b が挿入される。

上面部 15c の内面の後端には、後述する弾性部材 30 を係止するための係止部 15f が形成されている。

底面部 11 の、後述する刃 40 の先端部よりも少なくとも挿入口 19 側の内面には、挿入された紙類 70 の脱落を防止するための摩擦部 14 が設けられている。摩擦部 14 は、挿入された紙類の底面部 11 に対する摩擦力を増大させて紙類の脱落を防止するもので、図示の例では、ゴム等のシート部材を貼り付けることにより構成されている。

上記のように、ケース 10 は、硬質の合成樹脂材からなり、底面部 11 と、該底面部 11 の後端から起立する後壁部 13 とが一体成形された台部 12 と、後壁部 13 に形成された係止部に着脱可能に係止されて台部 12 と一体化される上覆部 15 とで構成されており、台部 12 と上覆部 15 とを横方向に逆にスライドさせれば分解可能である。

[013]

(保持片)

保持片 20 は、例えば、折り曲げ加工された、所要の剛性を有する板状体

からなり、前端正面部 15 d の内側に設けられた軸支部 17 において回動可能に軸支され、軸支部 17 から底面部 11 側へ延びる縦面部 21 を備えている。

保持片 20 は、例えば、厚さ 0.1 ～ 0.3 mm 程度の S K 材、ステンレス鋼材等の金属板で形成し得る。保持片 20 そのものは多少の弾性を有してよいが、保持片 20 の剛性が、使用時（保持片 20 の回動時）において後述する弾性部材 30 よりも大きくなるように製作される。保持片 20 の横幅は、一例として 2 ～ 4 cm 程度である。

保持片 20 は、側面視略くの字状に屈曲され、縦面部 21 に連なる横面部 22 を備え、縦面部 21 と横面部 22 とがアール状に交わる屈曲部近傍において軸支部 17 に軸支されている。

[014]

図 2 に示すとおり、保持片 20 の横面部 22 の両端部付近には、下方に直角に折り曲げられ、シャフト 18 を通すための軸挿入孔 22 a を有する取付部 22 b, 22 b が形成されている。軸支部 17 に形成したスリット 17 a, 17 a に、この取付部 22 b, 22 b が挿入され、シャフト 18 を、軸支部 17 の孔及び取付部 22 b の軸挿入孔 22 a を貫通させ、止め具 19（シリコンゴム等の弾性筒状体等）で止めることにより、保持片 20 が軸支部 17 に軸支されるようになっている。したがって、保持片 20 はケース 10 に着脱可能である。

[015]

また、横面部 22 の端部（前端正面部側）は上方に反転折り返しされ、折返し部 24 及び溝部 25 が形成されている。この溝部 25 に、後述する弾性部材（板バネ 30）の一方端部が挿入されて係合している。

縦面部 21 の下端部（底面部側）は、紙類の挿入方向側に向けて折り曲げられて折り曲げ部 26 を形成しており、該折り曲げ部 26 に合わせて後述する刃固定部材 50 が固定される。

折り曲げ部 26 の幅方向の中央部には刃固定部材 50 に固定された刃が挿通するスリット 26 a が形成されている。折り曲げ部 26 は、後述する刃固定部材 50 の縦方向の位置決め部となり、スリット 26 a は、刃固定部材 50 に設けられた刃 40 の横方向の位置決め部となる。スリット部 26 a を通って、縦面部 21 の底面部側の端部から刃 40 の先端部 43 が突出する。

[016]

さらに、刃固定部材 50 を保持片 20 の縦面部 21 の所定位置に係脱可能に保持する係止手段が設けられている。

本実施例では、刃固定部材 50 を縦面部 21 の縦方向の所定位置に係脱可能に保持する係止手段として、折り曲げ部 26 の端部から、縦面部 21 に沿う方向に、先端に屈曲部 27 a が形成された係止部 27 が連設されている。

また、刃固定部材 50 を縦面部 21 の横方向の所定位置に係脱可能に保持する係止手段として、縦面部 21 の各端部から、先端に屈曲部 28a が形成された起立係止部 28 が連設されている。

[017]

(弾性部材)

弾性部材 30 は、保持片 20 に対して紙類の引き抜き方向へバネ力を付勢する。

本実施例では、図 2 に示すように平面視略 T 字状の板バネ 30 により構成されている。板バネ 30 は、例えば、厚さ 0.06～0.09 mm 程度の S K 材、ステンレス鋼材等の金属板で形成し得る。板バネ 30 の中央帯状部 30a の幅を適宜設定することにより、バネ力の調整ができる。

板バネ 30 は、ケース 10 の上覆部 15 の上面部 15c の内面に略沿うように配置され、該板バネ 30 の一部（手前部分）が保持片 20 の溝部 22 に挿入されて係合している。板バネ 30 の後端部分（中央帯状部）は、上面部 15c の内面の後端に形成された係止部 15f に係止されている。したがって、弾性部材 30 はケース 10 に着脱可能である。

[018]

(刃)

刃 40 は、カッターナイフの刃に使われる炭素工具鋼（S K）など、鋼製のものが好適に用いられる。その厚さは、通常、0.3～1.2 mm 程度である。

図 3 に示すように、刃 40 は、直線状に延びる背部 41 と、該背部 41 と交差して鋭角状の刃の先端部（ポイント）43 を形成する刃先（エッジ）44 と、背部 41 と対向する位置にある刃元 45（刃先 44 の根元）と、この刃元 45 の近傍から背部 41 に向けて傾斜して伸びる傾斜辺部 46 とを有している。この傾斜辺部 46 の傾斜角 θ はほぼ 15～60° の範囲である。刃 40 の先端部 43 の角度は、通常 30～60° 程度である。刃 40 の背部 41 の長さは、一例として 6～12 mm 程度である。

[019]

(刃固定部材)

刃固定部材 50 は、刃 40 を固定し、所定位置に保持するとともに、保持片 20 の縦面部 21 に装着される部材である。刃固定部材 50 には、刃 40 の先端部 43 が突出するように刃 40 が設けられる。また、刃 40 は、縦面部 21 の面に対して刃 40 の垂直な起立状態を保持するように刃固定部材 50 に固定される。

図 4 に示すように、刃固定部材 50 は、保持片 20 の縦面部 21 に固定される平面部（底面部）51 を備えたベース部 52 と、該ベース部 52 から垂直に起立し、刃 40 の腹部（平）の両サイドで腹部を保持する起立部 53 と

を有する。起立部 5 3 は、刃 4 0 の高さに適合する高さを有する。この起立部 5 3 には刃 4 0 の輪郭に沿うスリット 5 4 が形成されており、このスリット 5 4 に刃 4 0 を挿入、固定して、刃 4 0 のベース部 5 2 に対する垂直状態が保持される。刃固定部材 5 0 は、合成樹脂の成形品により構成し得る。

[020]

刃固定部材 5 0 は、ベース部 5 2 の平面部 5 1 において、保持片 2 0 の縦面部 2 1 の、幅方向のほぼ中央部、挿入方向側の内面に固定される。縦面部 2 1 の下端の折り曲げ部 2 6 にベース部 5 2 を合わせて、固定部材 5 0 が固定される。刃 4 0 は、縦面部 2 1 の面に対して刃の垂直な起立状態を保持して固定されるとともに、縦面部 2 1 のスリット 2 6 a を通って、底面部 1 1 側の端部から刃 4 0 の先端部 4 3 が突出するように設けられることとなる。刃 4 0 の背部 4 1 は、縦面部 2 1 に沿って取り付けられることとなる。

このとき、刃 4 0 は、交差して鋭角状の刃の先端部 4 3 を形成する背部 4 1 と刃先 4 4 と、刃元 4 5 の近傍から背部 4 1 に向けて傾斜して伸びる傾斜辺部 4 6 とを有する、全体として背部 4 1 を底辺とするほぼ三角形状であるため、ケースの狭い内部空間に刃 4 0 が合理的に配置され、縦面部 2 1 の動きに伴い刃の動きが支障を来たすことがなく（背部 4 1 に対向する側が弾性片 2 0 の上面部 1 5 c に突き当たることがなく）、刃 4 0 を含む保持片 2 0 が確実に動作する。

[021]

刃固定部材 5 0 の縦面部 2 1 への固定は、両面粘着テープ、接着剤、その他の適宜固定手段を用いることができる。

本実施例では、縦面部 2 1 の折り曲げ部 2 6 に連設された前記係止部 2 7（屈曲部 2 7 a）を係止可能な凹溝部 5 5 がベース部 5 2 の表面に形成されている。この凹溝部 5 5 よりも端部側には、先端が肉薄なテーパー部 5 6 が形成されており、刃固定部材 5 0 の縦面部 2 1 への装着がし易いようになっている（刃固定部材 5 0 の縦面部 2 1 への装着状態を示す図 5 参照）。

また、刃固定部材 5 0 の横方向の両端部近傍には、縦面部 2 1 の各端部に設けられた前記起立係止部 2 8 を係止可能な凸部 5 7 が形成されている。この凸部 5 7 の横方向外側に起立係止部 2 8 の屈曲部 2 8 a が当接する。

したがって、刃固定部材 5 0 は、縦面部 2 1 の所定位置に確実に、簡単に装着可能であるとともに、刃固定部材 5 0 の縦面部 2 1（保持片 2 0）に対する着脱が可能である。刃 4 0 が消耗したときには、刃 4 0 を設けた刃固定部材 5 0 のみ縦面部 2 1 から外して交換すればよいので、便利で経済的である。

[022]

図 1 に示すとおり、ケース 1 0 の底面部 1 1 の、刃 4 0 の先端部 4 3 が位置する近傍には、適宜平面形状の透孔（又は凹部） 1 1 a が形成されており（該部付近のみ便宜上断面図で示している。）、該透孔 1 1 a 空間に刃 4 0 の

先端部 4 3 が納まる。前記したとおり、前端正面部 1 5 d の下端は、紙類挿入方向に略水平に延び、先端部 1 5 e が形成されているので、保持片 2 0 の縦面部 2 1 の紙類引き抜き方向への動きは、先端部 1 5 e がストッパーとなって規制されるため、刃 4 0 の先端部 4 3 は、底面部 1 1 に接触せず、損傷等から保護される。

また、刃 4 0 の背部 4 1 は、保持片 2 0 の縦面部 2 1 に沿っており、紙類挿入方向に向けてやや傾斜して配置されているため、紙類の挿入も容易に行われる。

[023]

(動作)

上記実施の形態の動作について、図 6、図 7 を参照して説明する。

図 6 は、紙類 7 0 を挿入口 1 9 から図の矢印に示す方向に挿入した状態を示し、図 7 は、挿入した紙類 7 0 の一番上の紙を引き抜く状態を示すものである。

図 6 に示すように、まず、適宜複数枚の紙類 7 0 を挿入口 1 9 からケース 1 0 の内部へ挿入する。すると、紙類 7 0 の前端部は刃 4 0 の先端部 4 3 に軽く当り、さらに保持片 2 0 に対する挿入口側への弾性部材 3 0 によるバネ力に抗して挿入を続けると、紙類 7 0 は、より内部へ進入する。この時、保持片 2 0 の縦面部 2 1 は、軸支部 1 7 を支点として、破線で示す位置から図面矢印の方向（挿入方向側）に回動し、保持片 2 0 にかかるバネ力は、刃 4 0 の先端部 4 3 が紙類 7 0 を、底面部 1 1 との間で挟持するように働く。刃 4 0 の先端部 4 3 は、挿入された紙類 7 0 の上部に位置する紙に当接し、通常、やや食い込んで刺さった状態となる。しかして、保持片 2 0 にかかるバネ力を用いて、紙類 7 0 は、刃 4 0 の先端部 4 3 と底面部 1 1 との間に保持される。

[024]

一番上に位置する紙が不要になった場合、該紙を、図 7 に示すように、挿入口 1 9 から矢印に示す方向に引き抜く。この時、刃 4 0 の先端部 4 3 と紙類 7 0 との摩擦力及び弾性部材 3 0 のバネ力によって、保持片 2 0 は図面矢印の方向（引き抜き方向側）に、軸支部 1 7 を支点としてやや回動して、刃 4 0 の先端部 4 3 は、一番上に位置する紙のみならずその下に位置する紙（通常、例えば 2 ～ 5 枚等、複数枚）をも突き刺す状態となる。このため、一番上に位置する紙以外の紙類 7 0 は、刃 4 0 の先端部 4 3 と底面部 1 1 とで保持されて脱落することがなく、一番上の紙のみだけ確実に引き抜くことができる。摩擦部 1 4 は、このとき他の紙類 7 0 の脱落を防止する上で有効に作用する。

引き抜かれた一番上に位置する紙は、刃 4 0 の先端部 4 3 が突き刺さった状態で引き抜かれることになるので、刃 4 0 の先端部 4 3 が突き刺さった接

触点を始点として紙の前端側に至る直線状の綺麗な切断線（跡）が形成される。

上記動作を繰り返すことによって、簡単かつ確実に１枚ずつ紙類を取り出すことができる。

ペーパーホルダー１の設置場所、設置手段は限定されない。ケース１０の裏面（底面部１１の外面）に粘着テープ等を張って、各種壁部に設置することができる。保持すべき紙類のサイズに応じて、ペーパーホルダー１を横長の板状基板に横に複数個並べて設置し、使用することもできる。

符号の説明

[025]

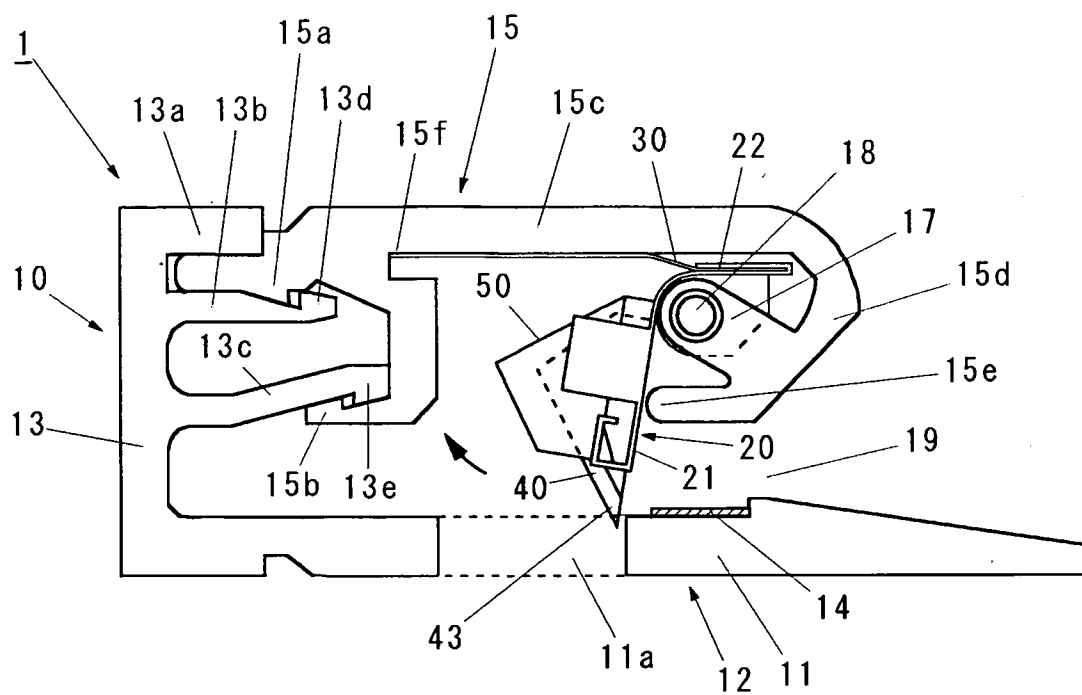
- １ ペーパーホルダー
- １０ ケース
- １１ 底面部
- １２ 台部
- １４ 摩擦部
- １５ 上覆部
- １５ｃ 上面部
- １５ｄ 前端正面部
- １７ 軸支部
- １９ 紙類の挿入口
- ２０ 保持片
- ２１ 縦面部
- ２２ 横面部
- ２５ 溝部
- ２６ 折り曲げ部
- ２６ａ スリット
- ３０ 弾性部材
- ４０ 刃
- ４１ 背部
- ４３ 刃の先端部
- ４４ 刃先
- ４５ 刃元
- ４６ 刃の傾斜辺部
- ５０ 刃固定部材
- ５２ ベース部
- ５３ 起立部

請求の範囲

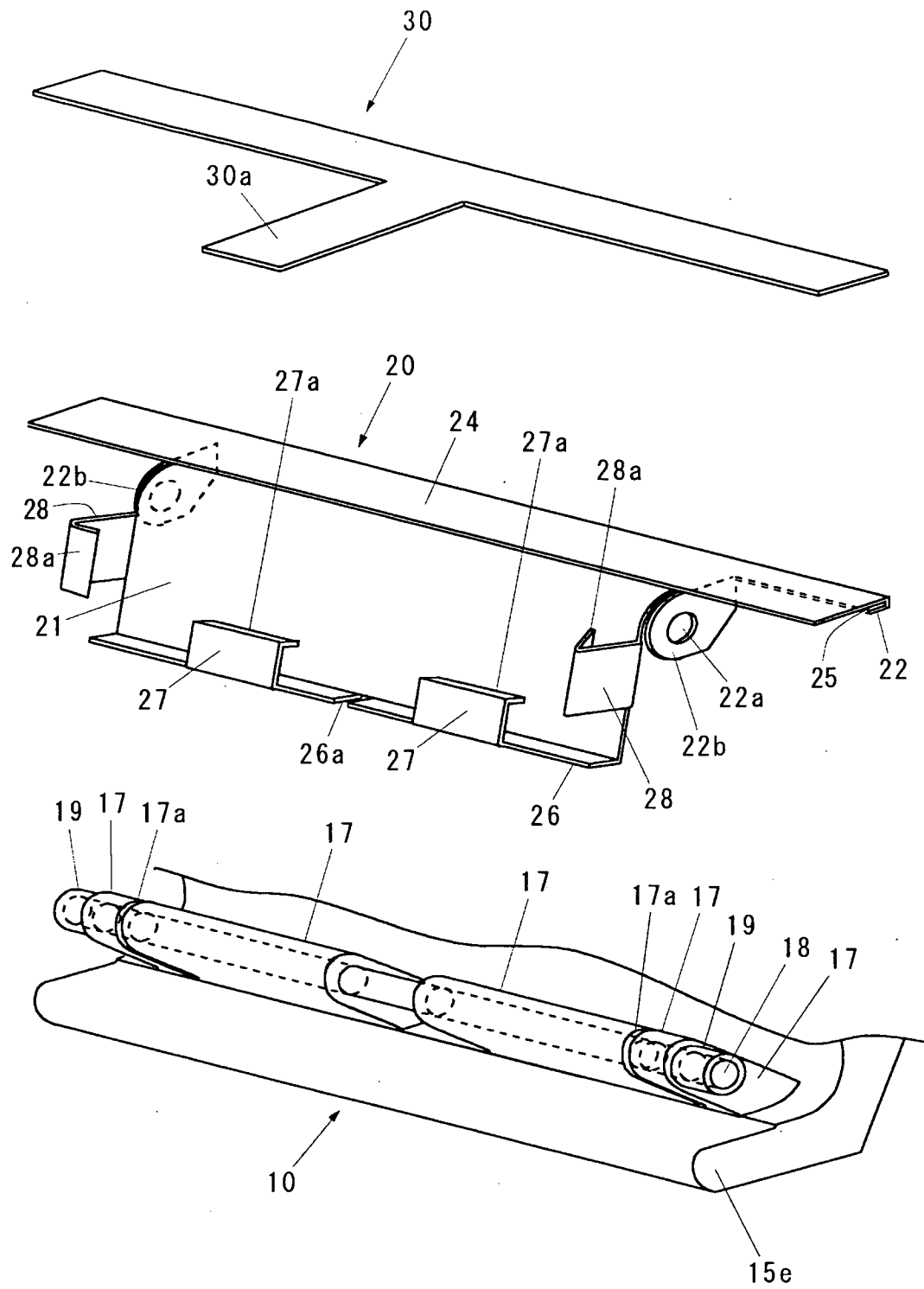
1. 底面部を含む台部と、底面部と空間を隔ててほぼ平行に対向する上面部と該上面部の前端に側面視略U字状をなす前端正面部とを有する上覆部と、が着脱可能に係合し、一体化されて前記前端正面部の下方に紙類の挿入口が形成されるケースと、該ケース内に設けられた、挿入された紙類を保持するための保持片と、該保持片に対して前記紙類の引き抜き方向へバネ力を付勢する弾性部材と、前記保持片に設けられた刃とを備えてなり、前記保持片は、剛性を有する板状体からなり、前記前端正面部の内側に設けられた軸支部において回動可能に軸支され、前記軸支部から前記底面部側へ延びる縦面部を備え、前記刃は、前記保持片に対して刃の垂直な起立状態を保持する刃固定部材に固定され、該刃固定部材は、前記縦面部の紙類挿入方向側の面に、刃の先端部が前記縦面部の前記底面部側の端部から突出するように設けられ、前記底面部の内面に、挿入された紙類の脱落を防止するための摩擦部を備えた、ペーパーホルダー。
2. 前記保持片は、側面視略くの字状に屈曲され、前記縦面部に連なる横面部を備え、前記縦面部と前記横面部とが交わる屈曲部近傍において前記軸支部に軸支され、前記横面部に前記弾性部材に係合している、請求項1に記載のペーパーホルダー。
3. 前記横面部の端部は反転折り返しされて溝部が形成され、前記上面部の内面に略沿うように前記弾性部材である板バネが配置され、該板バネの一部が前記溝部に挿入されて係合している、請求項2に記載のペーパーホルダー。
4. 前記保持片の、前記縦面部の端部は、紙類の挿入方向側に向けて折り曲げられて折り曲げ部を形成しており、該折り曲げ部に合わせて前記刃固定部材が固定されるとともに、前記折り曲げ部の幅方向の中央部には前記刃が挿通するスリットが形成されている、請求項1～3のいずれかに記載のペーパーホルダー。
5. 前記刃固定部材を前記縦面部の所定位置に係脱可能に保持する係止手段を備えた、請求項1～4のいずれかに記載のペーパーホルダー。
6. 前記刃固定部材は、前記縦面部に固定可能なベース部と、該ベース部から垂直に起立し、前記刃の腹部を両サイドで保持する起立部とを有する、請求項1～5のいずれかに記載のペーパーホルダー。

7. 前記刃は、交差して鋭角状の刃の先端部を形成する背部と刃先、と、刃元の近傍から前記背部に向けて傾斜して延びるように形成された傾斜辺部とを有する、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載のペーパーホルダー。

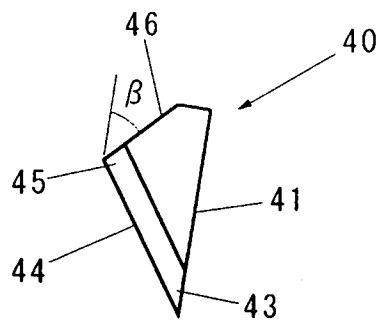
[図 1]



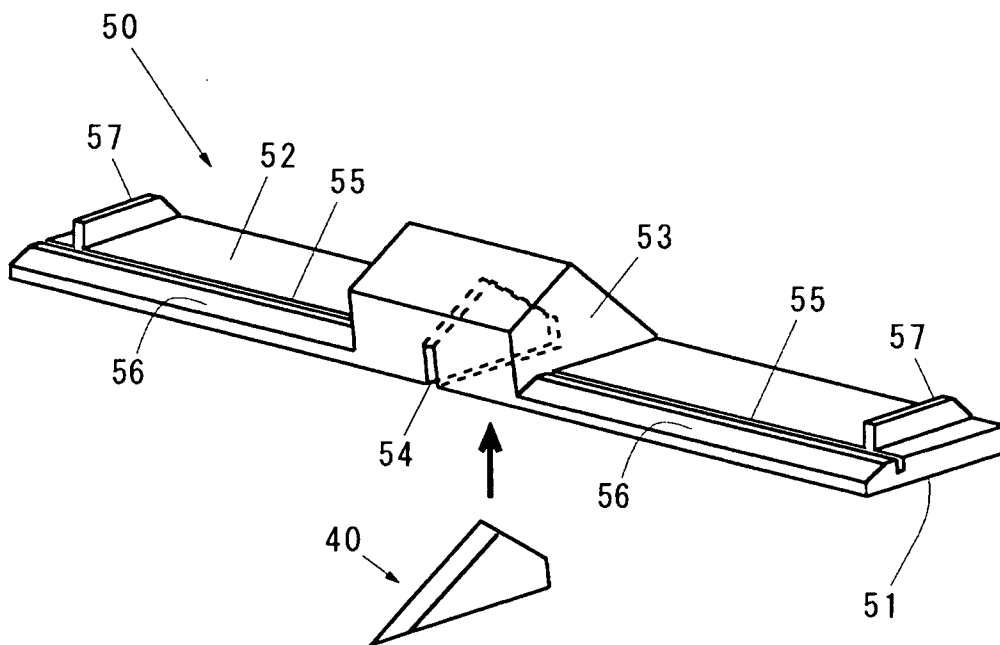
[図 2]



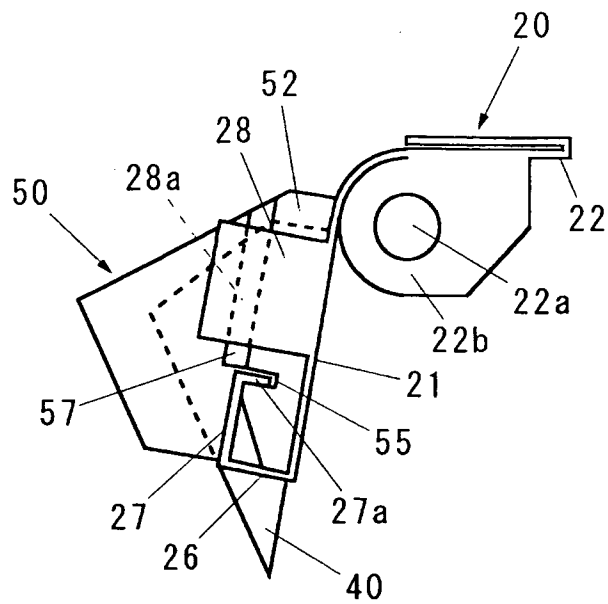
[図 3]



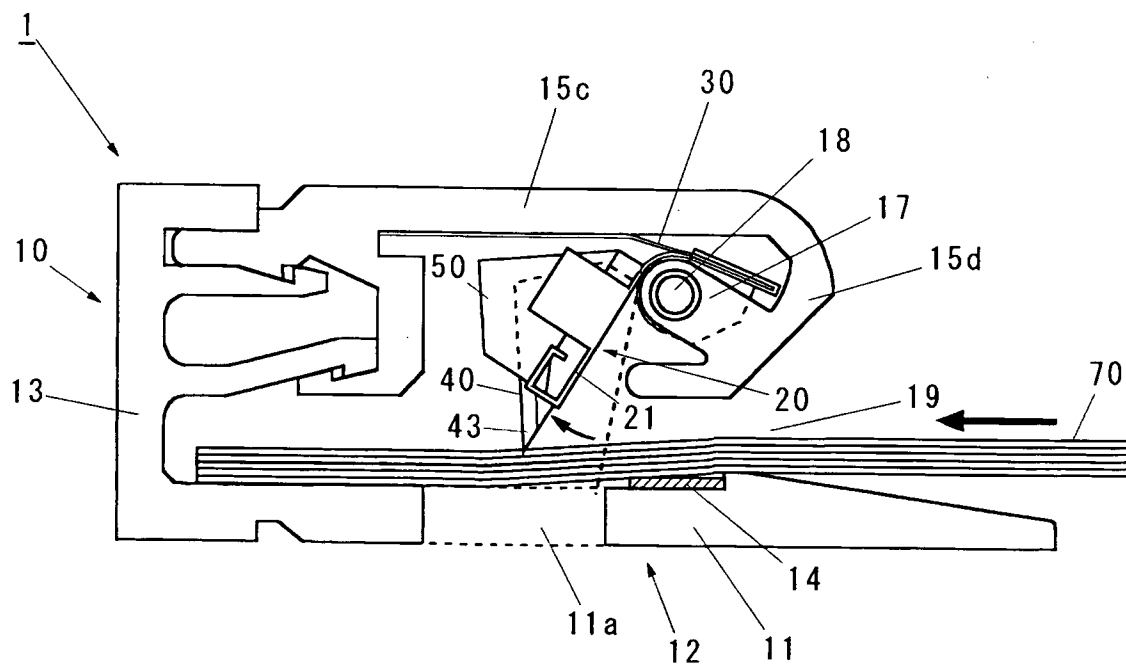
[図 4]



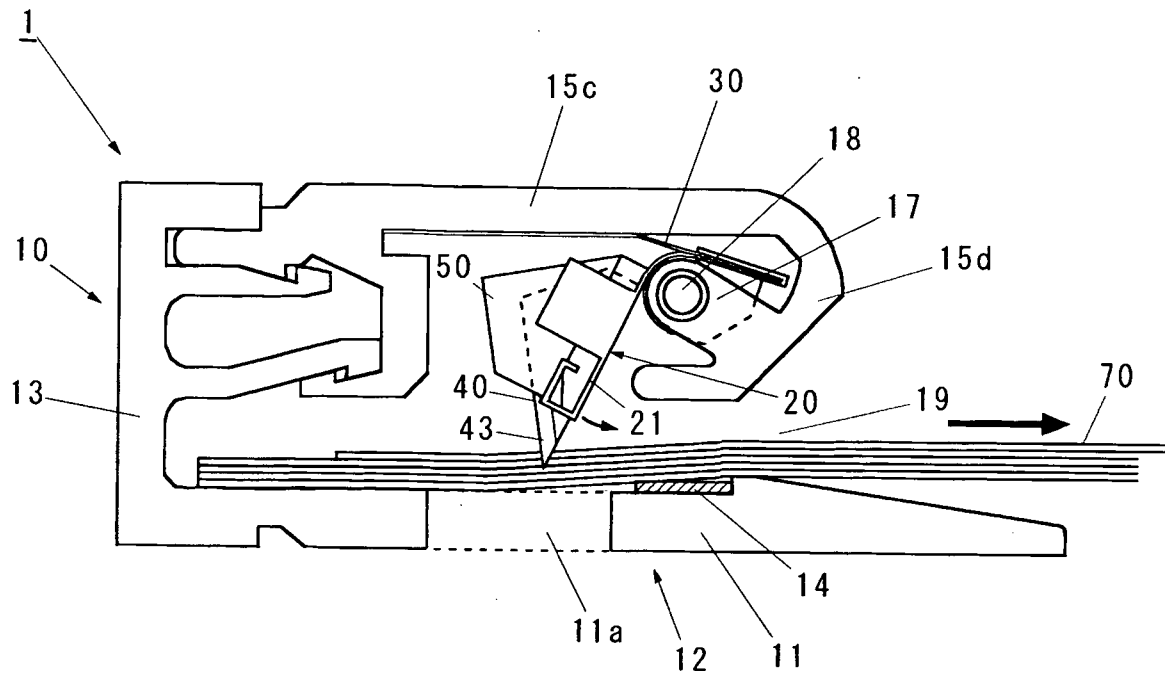
[図 5]



[図 6]



[図 7]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2010/066114

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

B42F1/02 (2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B42F1/02, B42F9/00, B42F15/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2010

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2010 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2010

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2008-188915 A (NS Planning Inc.), 21 August 2008 (21.08.2008), paragraphs [0008] to [0012]; fig. 1 to 3 & US 2008/0258452 A1 & EP 2110265 A1 & WO 2008/096463 A1 & CA 2634424 A1 & CN 101389492 A	1-7
A	JP 2005-66859 A (Hisao KINJO), 17 March 2005 (17.03.2005), paragraphs [0017] to [0032]; fig. 1 to 3 (Family: none)	1-7
A	WO 2009/116190 A1 (NS Planning Inc.), 24 September 2009 (24.09.2009), paragraphs [0010] to [0031]; fig. 1 to 9 (Family: none)	1-7



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

04 October, 2010 (04.10.10)

Date of mailing of the international search report

12 October, 2010 (12.10.10)

Name and mailing address of the ISA/

Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2010/066114

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 3775222 B2 (NS Planning Inc.), 17 May 2006 (17.05.2006), entire text; all drawings & US 2003/0172570 A1 & EP 1312485 A1 & WO 2002/011999 A1 & DE 60139261 D & AU 7674101 A & CA 2416951 A1 & KR 10-2002-0019875 A & CN 1361017 A	1-7
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 151717/1988 (Laid-open No. 71680/1990) (Yasuhiko TOKUNAGA), 31 May 1990 (31.05.1990), page 10, lines 12 to 18; fig. 1 to 5 (Family: none)	1-7

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. B42F1/02 (2006.01) i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. B42F1/02, B42F9/00, B42F15/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 0 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 0 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 0 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2008-188915 A (エヌエスプランニング株式会社) 2008.08.21, 段落【0008】—【0012】, 第1図—第3図 & US 2008/0258452 A1 & EP 2110265 A1 & WO 2008/096463 A1 & CA 2634424 A1 & CN 101389492 A	1-7
A	JP 2005-66859 A (金城 寿雄) 2005.03.17, 段落【0017】—【0032】, 【図1】—【図3】（ファミリーなし）	1-7

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

0 4 . 1 0 . 2 0 1 0

国際調査報告の発送日

1 2 . 1 0 . 2 0 1 0

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）

郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

2 B

3 8 1 7

楨 俊秋

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 2 3 7

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	WO 2009/116190 A1 (エヌエスプランニング株式会社) 2009.09.24, 段落【0010】－【0031】、【図1】－【図9】 (ファミリー なし)	1-7
A	JP 3775222 B2 (エヌエスプランニング株式会社) 2006.05.17, 全文, 全図 & US 2003/0172570 A1 & EP 1312485 A1 & WO 2002/011999 A1 & DE 60139261 D & AU 7674101 A & CA 2416951 A1 & KR 10-2002-0019875 A & CN 1361017 A	1-7
A	日本国実用新案登録出願63-151717号(日本国実用新案登録出願公開 2-71680号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイ クロフィルム (徳永 泰彦) 1990.05.31, 第10頁12－18行, 第1図－第5図 (ファミリーなし)	1-7